

# 出向く宮農レポート

～新野菜「アレッタ」の栽培～



北部宮農センター瀬戸地域担当  
小島 善治

瀬戸市東本地町にお住まいの矢野修さんは、瀬戸管内の水野地区、十軒町の畑で多品目の野菜を栽培されています。

令和2年からはブロッコリーとケールを掛け合わせた新野菜「アレッタ」の栽培にも取り組み、瀬戸グリーンセンターや学校給食へ出荷しています。



今回はアレッタの生育状況の確認をするため、圃場に伺い、頂花蕾ちょうからい（一番花）の摘芯と、なかなか雨が降らないため、水やりをしっかりと行うよう指導をしました。（アレッタは頂花蕾が500円玉サイズで摘芯を行い、側芽の成長を促していき、5～6cmになったら収穫していきます。）

さらに、今後は春に向けてあたたかくなると、アブラムシが発生しやすくなるため、葉裏をこまめにチェックしていただくようお願いしました。また、アレッタは登録農薬が少なく、使用できる農薬が少ないため、農薬使用の際はラベルなど登録をしっかりと確認するとともに、出向く担当職員に気軽に相談して下さいとお伝えしました。

矢野さんは「アレッタはまだまだ知名度の低い野菜ですが、なばな類の中では格段に甘味が強く、栄養素が豊富なのでぜひ皆さんに食べてほしい」と話していました。

アレッタは2月頃から側枝の収穫が始まり、出荷されています。見かけたらぜひ手に取ってみてください。

